

ゲームミクシ 特別活動学習 第2時

授業のながれ ゲームにむちゅうになると

本時の目標

・自分の生活を振り返り、ゲームをする時はルールを決めて、規則正しい生活を送ることができるようになる。

特別活動

(2)-カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

本時のための準備

指導案、ワークシート、紙芝居、保護者事前アンケート



教科

年 組

指導者名

指導のアドバイス

この質問で、どのくらいの児童がゲームで遊んでいるか把握します。

所有台数の多い子は、所有年数が長く、利用時間も長い傾向にあります。全くしていない児童も多いでしょう。その場合は、今後の心構えとして学習を進めます。

実態をさらに確認するため、保護者に事前アンケートを取っておきます。

紙芝居は、情感を込めて読みます。そのままキーシーンとしても使います。

2、3年生はペアで話し合い意見を発表してもいいでしょう。

・導入・・・紙芝居を見る。(10分)

ゲーム機を持っている人はいますか？

何台くらい持っていますか？（1台、3台など）

ゲーム機はどんなところがおもしろいですか？

たくさんの意見がでましたね。

ではここで、お話を聞いてください。

みくしくんとゲームの物語です。

プレゼンデータを見せながら話をする。

はい、それでは物語を振り返ってみましょう。

（黒板に紙芝居の何枚かをキーシーンとして貼る。

それぞれのシーンを振り返る。）

・展開・・・どうすればよかったのだろう (30分)

お誕生日にゲームを買ってもらい、遊んでいる時の

みくしくんの気持ちを考えてみましょう。

- ・うれしいな
- ・ゲームはおもしろいな
- ・早く遊びたい
- ・いっぱい遊びたい

寝る時間になってもゲームがやめられなかったみくしくんの気持ちを考えてみましょう。

- ・もっと遊びたいな
- ・ゲームはやっぱり楽しいな
- ・約束を決めていたのに守れない

どうしてゲームは簡単にやめられないのでしょうか。

- ・画面が次々変わるから
- ・登場人物がいっぱい出てくるから
- ・一緒に遊ぶ人がいるとやめられない

宿題をしないで学校へ行き、発表しなければいけないと気がついた時のみくしくんの気持ちを考えてみましょう。

- ・前の日の夜に宿題をしておけばよかった
- ・発表する宿題が出来ていなかったから悲しい気持ち

ふり返り・自分に引きよせて考えてみよう（5分）

ゲームをするときの約束を守るためにはどうしたらいいのでしょうか。考えてみましょう。

ゲームは楽しいですね。でも長い時間ゲームだけで遊んでいると、お友達と外で遊ぶ時間、学習の時間、寝る時間、家族とお話する時間が減ってしまうことがありますね。ゲームに夢中になって、大切な用事や約束を忘れることもあるかもしれません。

ルール、約束は、決めただけでは守れないのですね。

自分はどんな遊び方をしているか、いつも振り返って考えてみるのが大切です。まだ遊んでいない人も、これからゲームで遊ぶ時にはどんな約束が大切か、考えておきましょう。今日学んだことは家族に話し、感想を書いてもらいましょう。

宿題として、家族に学習したことを話し、ワークシートに感想を書いてもらいます。学習の継続につながります。

指導のアドバイス

ゲームに夢中になる気持ちに共感しながら、なぜ夢中になるのか理由を考えさせ、発表します。ゲームは面白く、時間を守ることがとても難しいことに気づかせます。ペアで話し合い、ワークシートにまとめます。

ゲームをするときの約束は、作るだけでは守ることが難しいことを意識させ、約束を守るためにどうすべきかを具体的に考えさせます。

ゲームの特性（簡単にやめられない工夫など）に興味を持ち、自己を振り返りながら、適切なつきあい方、節度ある生活をしたという意欲を高められるよう考えます。みくしくんのお面を作り、児童に演じさせることで、みくしくんの思いを語らせてもいいと思います。

小学生のゲーム利用実態は、低年齢化、長時間化、オンライン化の傾向にあります。調査では、ゲーム機は小学校1年生で68%が所有し、その半数が複数台所有しています。（今度珠美 2014.10）

この単元の評価の観点

- ① ゲーム機利用の約束を決めて守ることが大切だと気づいているか。
- ② 学習や生活に影響がないようにゲーム機を利用し、規則的な生活を送ることが大切だと気づいているか。

ワークシートや発言内容の中で、これらの観点が理解できていれば、よく気がついたねと受けとめてあげましょう。